

令和7年度いみず苑「ひびき愛」地域連携推進会議議事録

1 日 時

令和8年3月10日(火) 10:00～11:30

2 場 所

管理棟1F 第一会議室

3 出席者

- ・利用者代表 1名
- ・利用者家族代表 1名
- ・地域の関係者 1名
- ・福祉に知見のある者 1名
- ・経営に知見のある者 1名
- ・射水市社会福祉課 1名
- ・いみず苑「ひびき愛」3名（施設長、施設長代理、入所支援課長）

4 施設見学

入所棟(居住スペース、食堂、活動ホール、浴室等)を見学。併せて、利用者の日中活動中の様子も見学。

5 議 事

(1) 地域連携推進会議について

施設長から、「資料1 地域連携推進会議について」に基づき同会議の趣旨・目的等について説明。

(2) いみず苑「ひびき愛」の概要について

入所支援課長から「資料2 いみず苑「ひびき愛」の概要」及び付属資料に基づき、施設・サービス概要、利用者状況、運営状況、利用者の権利擁護等について説明。

(3) 意見交換

○質問：20歳未満の入所者がいないが、入所希望者がいないのか。

○回答：入所希望者はいるが、満床の状態であり、受け入れることが困難である。

入所施設の新設や増床は障害者の地域移行を進めるという社会の趨勢からすれば困難。

○質問：高齢者の入所者は引き続きここを居宅としていくのか。

○回答：65歳以上の利用者の介護施設等への移行について相談しているが、ハードルが高い。障害の程度が重くても介護制度では軽い判定になる。また、費用負担が重く、食事などの実費負担も重荷になる。入所施設を増やせない以上、法人としては、今後、重度対応のGHや日中支援型のGHなども勘案しながら新しいGHの建設に向け検討してまいりたい。

- 意見：今後、成年後見制度の見直しが予定されていると聞いている。一度利用すると終了できない制度から、必要性がなくなれば終了できるような制度の見直しが検討されている。特に、利用料が安価になればよいと思う。
- 質問：入所施設での生活から、より自由度の高いアパート等で生活できればよいと思う。支援を受けつつも一人暮らしや自立した生活を送りたい。
- 回答：R 8年度から入所利用者を対象として地域移行等の意向確認が義務化される。適切に利用者の意向を確認してまいりたい。
- 意見：いみず苑は多岐にわたり取り組んでおられ感謝申し上げる。市としても当事者の意見に耳を傾けていきたい。
- 質問：今まで地域との交流面（イベント）を多く見てきたが、今回は日頃の利用者の生活面、職員が最前線でどのように支援しているかについて触れることができた。利用者の居室や生活面でのプライベートへの配慮が大事になってくると思う。また、眠りスキャンの設置など ICT 機器の活用はよいことだと思う。
- 回答：最近、他県の入所施設ではユニット化、個室化が進められている。当法人では今すぐに対応することは困難であるが、一部の部屋で間仕切りを行うなど工夫している。今後、建替えを行う際には、ユニット化、個室化を進めたい。また、日頃、職員には大変頑張ってもらっており、職員が少しでも本来業務である利用者支援に注力できるよう、ICT化を積極的に進めてまいりたい。
- 意見：30年前に子どもを獅子舞のキリコとして連れてきたことや子ども食堂を開催していたことを思い出すと、この施設は地域に根差した施設であると言える。今後ともイベントや施設見学などをおして地域に開かれた施設であってほしい。